

講義名	英語精読 (GSP・上級)			授業形態	
担当教員	藤岡 千伊奈	開講期・曜日・時限	後期 水曜日 2時限		
		単位数	2	履修開始年次	2年生

主題と概要

社会ではグローバルな環境で即戦力として活躍できる人材が求められています。そのため、英語力と異文化知識を身に付けることが不可欠です。このコースでは、好評のノン・フィクションのテキストを用いて、中級レベル以上のリーディング力を獲得することを目指します。授業は精読なので、細かいところまで深く読み、リーディング問題を解いて、内容理解をしていきます。また、リーディングのトピックに関して、ペア及びクラス全体でできるだけ英語で意見交換し、ディスカッションにも力を入れていきます。授業は自次通りでなく、特に興味深いユニットを厳選して読んでいきます。また、授業外で、毎週additional readingも積極的に行ってもらい、できるだけ沢山読んで自分のリーディング力を高めていきます。授業は、講義ではなく、学生による授業参加型の授業なので積極的に授業に挑むように、皆さんの前向きな姿勢・努力は成績に反映されます。

到達目標

1. 総合的なリーディング・スキル(スキミング等も含め)を習得できるようになる。
 2. リーディングを通じて、文法・語彙・熟語力を高めることができるようになる。
 3. リーディングを通じて、グローバルな視点から異文化知識を高めることができるようになる。
 4. リーディングのトピックに関して、英語で意見交換・ディスカッションできるようになる。
- *オンラインでの受講では、到達目標を達成することが難しい科目であるため、オンデマンドでの開講はできない。

提出課題

授業内で適宜指示する。

課題 (レポートや小テスト等) に対するフィードバックの方法

提出課題に直接コメントを書いてフィードバックします。また、クイズに関しては、授業内で解説します。

評価の基準

- 1) 授業参加度・授業姿勢 20%
 - 2) 小テスト 20%
 - 3) 課題 20%
 - 4) 口頭発表10%
 - 5) 学期末試験 30%
- *5回休んだ時(途中退室も含め)、自動的に不可が決定し、学期末試験は受けられない。

履修にあたっての注意・助言他

1. このクラスは、長文の英文を読んで理解できない学生には勧めません。
 2. 第1回目の授業で、重要な詳細を説明するので、必ず出席するように。
 3. 授業中、遅刻・欠席・退席を繰り返す学生は、その日、「欠席」となるので注意すること。
 4. 教科書を購入しない学生は履修できず、単位が取得できません(古本不可)。
 5. 講義連絡を常にチェックするように。
- *著作権の問題で、ライブ配信の授業になった場合、教科書購入は必須です(よって、自国において教科書が入手できない留学生には履修できません)。

教科書

.Reading Advantage 2 3rd Edition .	Casey Malarcher	セングージ出版	978-981-4336-54-3
------------------------------------	-----------------	---------	-------------------

参考文献

その他

必要に応じて授業中に指示する。

授業計画

- 回 授業計画
- 1 Course Guidance
 - 2 Unit 1 Helping Others
 - 3 Unit 1 Helping Others/Other material
 - 4 Unit 3 Movie Directors
 - 5 Unit 3 Movie Directors/Unit 4 Coffee Culture
 - 6 Unit 4 Coffee Culture/Unit 10 The Nobel Prize
 - 7 Unit 10 The Nobel Prize/Unit 11 A Funny Cure
 - 8 Unit 11 A Funny Cure/Unit 12 Palm Reading
 - 9 Unit 12 Palm Reading/Unit 17 Happy New Year!
 - 10 Unit 17 Happy New Year!
 - 11 Unit 19 Urban Legends
 - 12 Unit 19 Urban Legends/Other material
 - 13 Other material
 - 14 Presentations (if necessary)
 - 15 Presentations

* 感染者または濃厚接触者に指定され、一時的に通学が禁止される受講者は、Zoomライブ配信授業に参加となる(オンデマンドではない)。

* 授業の進捗状況により、授業計画が変更する可能性があります。

授業形態 (アクティブ・ラーニング)

ア: PBL (課題解決型学習)	イ: 反転授業 (知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
<input type="radio"/> ウ: ディスカッション、ディベート	<input type="radio"/> エ: グループワーク
<input type="radio"/> オ: プレゼンテーション	カ: 実習、フィールドワーク
キ: その他 (A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

準備学習 (予習・復習等) の具体的な内容及びそれに必要な時間

- * 2単位の講義では、1回の講義について48時間の自己学習が必要」ということなので、その時間を、テキストの予習・復習・課題 (additional readingも含む) に使う。
- * 授業前は、各ユニットの分からない語彙の意味を調べて来る。
- * 授業後は、各ユニットの小テストがあるので、しっかり復習する。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本コースでは、グローバル社会の様々なトピックを扱うノンフィクション教材を用いて異文化知識・英語の読解力及びリーディング力の向上を図ることににより、卒業時に身に付けておくべきグローバル社会が必要とされる読解・コミュニケーション能力の育成を目指す。これらの能力は、留学生に求められる「各業界の動向や問題点を理解するための基礎知識」、経済学部生に求められる「経済にまつわる情報分析の力」、人間社会学部生に求められる「社会の仕組みや働き、日常生活と文化、人々の心理等」の様々なテーマに取り組みこと・コミュニケーション能力の修得につながる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考

* 感染者または濃厚接触者に指定され、一時的に通学が禁止される受講者は、Zoomライブ配信授業に参加となる(オンデマンドではない)。